

連盟ニュース

3 0 1

神奈川 2

2010.2.9



『厳冬の穂高連峰』(北アルプス・上高地にて) 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会のお知らせ	2
新年度の理事候補者推薦のお願い 3	/ 定期総会に出席する代議員の選出のお願い 3
	/ 議決権行使についての参考書類 3
広沢寺の岩場清掃集会2010(第11回)3月7日	/ 自然保護委員会セツブンソウ観察会3月6日 4
【各会へ】事務局長メーリスグリスト登録のお願い	/ 労山新特別基金への継続・新規加入のご案内 6
積雪期訓練報告書 救助隊 海輪利昭 11	/ 全国連盟総会第一次議案の掲載場所の紹介 6
自然保護委員会/クリーンハイク第1回実行委員会報告	6
新春ハイク 河村城址/西丹沢 川崎HC 7	/ 『山の用語辞典』川崎HC 6
湯河原梅林公園環境保全活動報告	小田原ナーゲル山の会 青木義隆 8
第11回東日本女性登山交流集会報告	川崎労山 小竹清子 9/ 藤沢山の会 高崎明美 10
第28期(2010年度)登山リーダー養成学校募集要項	13
2010年度ハイキングリーダー学校入校案内	16
1月事務局長会議の報告 11	/ 2月常任理事会報告 12
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定	18
登山時報紹介 17	/ 県連のスケジュール/ 全国会議行事予定 20



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座 0015228

神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会のお知らせ

以下のとおり第32期定期総会を開催します。

各会においては代議員の選出をお願いします。

代議員は会員10名につき1名、10名までの会は1名でお願いします。

ただし、代議員は本連盟の役員を除きます。

また、次期新理事の推薦をお願いします。

日時：2010年3月14日(日) 10時から17時

場所：戸塚法人会館

横浜市戸塚区上倉田町449-2

TEL 045-861-8743

内容 規約改正

2009年度活動報告

31期下期(2009年度)決算報告

2010年度方針案

32期上期予算案

理事の選出など



(役員と委員の区別、常任理事・理事の定数、各専門部長に各委員長が属するのか定めがなく、これらを明確にすると共に同じ委員でも第30条・は性質が異なるため、下線部分を追加する。)

第31条(役員^の立候補)立候補者は原則として推薦または自薦とする。但し、理事は、会は会員数に応じて20名に1人の割合で理事候補者を推薦する。

(提案趣旨に則り、下線部分を新たに追加する。)

第34条(役員^の任期・委員^の任期)役員・委員の任期は次期総会までとし再選を妨げない。また、中間年で選出された役員・委員の任期も次期総会までとし再選を妨げない。但し、第30条・による委員にはこれを適用しない。

(第29条を受け、委員の任期を補完、中間年選出者の任期を明確にすると共に同じ委員でも第30条・は性質が異なるため、下線部分を新たに追加する。)

第48条 規約に基づく、加盟脱退手続規定、総会会議運営規定、会計監査規定、選挙管理規定、指導員認定規定、救助要請規定、リコ-ル辞任規定、常任理事・理事の選出基準に関する規定などは別に定める。

(提案趣旨に則り、下線部分を新たに追加する。)

第50条 この規約は1986年3月9日より施行する。

1995年3月総会で改正、追加、変更部分につき新たに施行する。

2010年3月総会での改正、新設した部分を施行する。

(提案趣旨に則り、下線部分を新たに追加する。)

3. 新設する規定の内容

常任理事・理事の選出基準に関する規定

- 第1条 会は会員数に応じて20名に1人の割合で、会員数20名未満の会は1人を理事候補として推薦する。
- 第2条 推薦された候補は総会において出席者の過半数の承認を得たとき理事となる。中間年の場合には総会に代わる理事会で選出される。
- 第3条 理事は連盟の各業務を担当する。業務の内容は規約第27条、第30条に定めるほか業務の詳細は以下のように分けられる。
- 第4条 事務局 庶務 連盟活動に関わる通信、記録の管理と連絡業務ほか。
 会計 連盟費の徴収、全国・スポ連への支払い、通信、活動関係費用の記帳・整理・連盟費の保管、各支払請求に関する業務ほか
 機関誌 連盟ニュースの編集発行、各会の機関誌及び情報誌の整理、電子メ-ルほかの通信連絡、広報業務ほか。
 組織 会員拡大と組織の強化活動の推進及び他団体との連携業務。
 事務局長 連盟活動に伴う事務処理、情報処理、各部・委員会の情報把握、他団体との折衝、各会の情報・意見・要求の把握など。
- 第5条 教育 連盟活動全般の教育活動及び各会からの要求に基づく教育活動。
- 第6条 遭難対策 連盟員に対する事故防止と安全教育の実施業務。
- 第7条 ハイキング ハイキング問題とハイカ-の教育。
- 第8条 自然保護 山岳自然の保護保全活動、情報の入手と公開。
- 第9条 関連団体との関係 新スポ-ツ神奈川連盟の担当、全国連盟の理事・委員、関東ブロック委員は連盟を代表する、各種行事企画のための実行委員は連盟を代表する任務に就く。
- 第10条 連盟の総会・理事会開催に伴う議長団。
- 第11条 本規定の改廃は、理事会の出席者の過半数の賛否により議決することができる。
- 第12条 本規定は、2010年3月14日を以って執行する。

丹沢・広沢寺の岩場清掃集会 2010 (第11回)のお知らせ

清掃集会も今回で10年目を迎え、クライマーと地元との関係も良好に推移しています。下記の通り清掃集会を行いますので、ご支援ご協力をお願いします。

日時：3月7日(日) 09:00～12:00 (集合 08:30)

場所：丹沢・広沢寺の岩場(集合場所：広沢寺前駐車場)

内容： 広沢寺の岩場とその周辺の清掃
地元の里山作り運動への協力

持ち物：軍手、ゴミ袋

連絡先：「広沢寺の岩場を守る会 事務局」

〒186-0003 東京都国立市富士見台1-27.1-21-106 安村淳様方

電話：042-575-6131

E-mail：mgorilla@ma.ejnet.ne.jp

自然保護委員会観察会のお知らせ

セツブソウ 栃木 三峰山 (みつみねやま) 605m

(御嶽山神社を抱く神々の山)三峰山は信仰の山である。石灰岩の採石で痛々しい姿であるが、山すべてが修行の場となっており、身のひきしめるような雰囲気がある。御嶽山岩戸登拝の周遊コースをまわる。近くにはカタクリやセツブソウの群生地があり、花開く春先には一面のじゅうたんとなる。(栃木の山140より)

日時：3月6日(土) 集合：6:30 横浜駅周辺でマイクロバス乗車

日程：横浜駅 首都高・東北道 栃木インター 栃木市星野町 星野自然村 御嶽山神社(40分) 浅間大神洞(40分) 三峰山(1時間20分) 奥の院(1時間) 御嶽山神社 横浜

案内：鈴木澄雄さんをお願いしました。登山時報で連載していた「普段着の山」のカメラマンです。お楽しみに。

費用：バス代実費。約4000円。

申し込みについて：マイクロバスでいきますので、定員20名で締切ります。早めに申し込んでください。磯部 isotuki@yahoo.co.jp 044-511-7771

【各会へ】事務局長メーリングリスト登録のお願い

お疲れ様です。

さて現在、各会への様々な連絡事項は、県連事務局長会議のほか、事務局長メーリングリストで行っております。ほとんどの会の事務局長または代表、代理の方のメールアドレスは登録されておりますが、まだ一部の会では未登録もあります。連絡漏れなどあってはいけませんので、未登録の事務局長は至急メーリングリスト管理人の鳥越さん(akio@tory.com)までメールアドレスをお知らせください。事務局長がメールアドレスを持っていない場合は、会員のどなたか代理の方のメールアドレスでも構いません。添付ファイルの送付も多いので、パソコンメールアドレスをお願いします。

後藤真一

全国第29回総会文書案の紹介

「ろうさんニュース」第18号

rijiメーリングリスト「00355」の添付
ファイル

登山時報2月号

をご参照ください。

労山新特別基金への継続・新規加入のご案内

「労山新特別基金」の継続・新規加入の受付時期が近づいてきました。この新特別基金は、会員の寄付によって運営する会員のための山岳遭難救助制度です。遭難救助・捜索・怪我・急病など登山中に起きた事故の救済を目的とし、里山ハイキング・インドア・クライミングから海外までをカバーしています。又この制度は、事故の救済だけではなく、遭難事故の予防を目指す安全対策基金にも運用され、技術教育と遭難事故対策の活動に活用されております。尚、加入金額・口数とそれによって補償される内容など、詳細は各会の基金担当者に問い合わせるか、各会に配布された“加入のしおり”をご覧頂き、継続・新規加入の申し込みをご検討下さるようお願いいたします。

「山の用語辞典」作っちゃいました！

登山時報2月号に、川崎ハイキングクラブが作成した「山の用語辞典」の記事(29ページ)が載っています。作成に至る経緯を小野寺英夫氏が書いています。問い合わせは川崎ハイキングクラブへ。



自然保護委員会報告・

第1回クリーンハイク実行委員会報告

日時 1.25(月)19時~21時

出席者 高橋 萩原(藤沢山の会) 関根 伊藤
宮原(横浜HC) 大用(川崎HC) 千葉(みずなら
山の会) 磯部(地平線) 三上(こぶし)

自然保護委員会報告

議題 第31期下期(2009年度)第32期上期(2010年度)総括と方針に、ついて討議(詳細は、3月総会時報告)

第1回クリーンハイク実行委員会報告

2010年丹沢クリーンハイクは5月30日

水質調査・前夜祭は5月29日決定

実行委員会日程が決まりました(下記一覧表参照)

日程・場所・時間

2/22(月) 県民サポートセンター
ミーティングルーム710
P.M7:00~9:00

3/29(月) 同上

4/26(月) 同上

5/10(月) 県民サポートセンター
会議室711
P.M7:00~9:00

5/24(月) 県民サポートセンター
会議室711
P.M7:00~9:00

6/7(月) 県民サポートセンター
会議室404 反省会
P.M7:00~9:00

第1回は各会からの実行委員の参加が少なかった。知らない会もある様なので再度事務局長会議で、各会に実行委員の選出、協力をお願いし、又口頭のみでなく文書でも願います

一部担当役員を決めました。

総務担当 磯部(地平線) 関根(横浜HC)

2月19日「ブナ林再生への道のり」18:30~公開勉強講座参加の前に、県庁へクリーンハイク後援の(アポイント確認がOKなら)お願いに行きます

以上. 記録(大用)

2010年 新春ハイキング

日時： 1月31日(日)

場所： 河村城址/西丹沢

コース： 山北駅->鉄道公園->洒水の滝->河村城址->浅間山->東山北駅

小春日和に恵まれた1月の最後の日曜日に、恒例の新春ハイキングが総勢41名(会員外4名)の参加で、のどかな春霞の中で行われました。山北駅に集合して、6班に班分けをして後、全員ストレッチで軽く身体をほぐして、目指すは洒水(しゃすい)の滝を巡って、甲斐武田氏への備えの要塞といわれ平安末期に築城された河村城址へ。

今回の企画担当は、軽ハイクとミニハイクという川崎ハイキングのグループの中でも女性陣が優位(!?)なグループのため、お昼に「豚汁」をふるまうという計画があり、「豚汁隊」なる班も結成されて、他の班とは別にショートカットして、昼食予定の地、本城郭へ。

洒水の滝は落石があり、危険防止で滝つぼまではいかれず、全員少し心残りがありましたが、約1時間半の歩行後、額に少し汗をして、よく整備がされた広々とした主郭へ到着。豚汁隊は、40センチの大鍋2つにあふれんばかりの豚汁を、試食も済ませ

て準備万端待っていました。ひとつの鍋は会員の手作り「手前味噌」で味付けがされ、もうひとつの鍋は菊水酒造特製の酒粕をブレンド、あっという間に参加者の「うまい!おいしい!」の声とともに、鍋が底をつき、「もう終わりなの?」の声とともに約60人分の豚汁を完食!

午後約1時間半、のんびりと、たわむれに実る柑橘類を道の脇にみやりながら(おいしそうなのを内緒で少し頂きました)、ロウバイが満開で、さらにウメも五分、七分咲きで本当に気持ちの良い温暖な地を、城址跡の歴史とともに、全身と頭で感じ、楽しんだ一日でした。実行委員のご苦労さん会で、また盛り上がり、気持ちの良い一年のスタートのハイキングでした。

報告 川崎ハイキングクラブ

写真：小柳 康博

文：伊藤 健司



湯河原梅林公園環境保全活動報告

1月24日に開催された湯河原梅林公園環境保全活動について参加人数については総勢188名と前年を50名余上回りました。

当日のごみ収集量は59Kg。ほかに枯れ草の刈り取りやルート上のピンを確認しました。

ごみの収集のほか、テントウムシロックの柵の中に入り、鎌で枯れ草を除去しました。

ロックライミング禁止で枯れすすきにおおわれていたテントウムシロックも少しはきれいになりましたが、左上部の急坂にはイノシシが掘り起こしたと思われる多数の小石や一抱えもあるような石が、今にも転がりそうでしたので平らな所に移動しました。

なお、労山からの参加者総数は39名でした。(リーダー学校、雪崩講習会等の連盟行事が重なりましたが昨年より10名ほど多くの参加者がありま

した)

各会からの参加者は次のです。

1. 神奈川県連 27名
相模アルパインクラブ6名、みずなら山の会5名、アルパインクラブ横浜4名、川崎労山3名、小田原ナーゲル山の会3名、カモの会2名、メグリ家2名、こぶし山の会1名
2. 都連盟 10名
ぶなの会：3名、さわらび：2名、ローレライ：1名、八王子おおるり：2名、練馬：1名、神田：1名
3. 埼玉県連盟 2名
岩つばめ2名

小田原ナーゲル山の会@青木義隆



第11回東日本女性登山交流集會に参加して

川崎芳山・小竹清子

2010年1月23日～24日、東京都八王子市の「高尾の森わくわくビレッジ」で開催されました。主管は東京都連盟女性ネットワークでした。

東京女性ネットワークは2009年都連盟に初デビューし、この集會が最初の取り組みでした。

都連盟に女性ネットワークができた事自体、私にとっては驚きでした。

と言うのも全国連盟のお膝元である東京、神奈川には連盟として認められた女性のネットワークは今までありませんでした。女性自身の力で作り上げたネットワーク、勿論都連盟の協力なしではできませんが本当に称賛の値するものだと思います。都連盟の女性の一人は集會の準備を通して会を越えたお互いの結びつきが深まり、素晴らしい力を発揮できたといっていました。



委員長挨拶

登山者の高齢化が進んでいる今、登山者自身の抱える問題はたくさんあります。体調の問題、親の介護など抱え色々と模索する日々を過ごしています。そんな中、女性の交流という場を通話し合い、仲間の存在を確かめ合い、刺激を受け自らの登山活動や日々出会う困難を乗り越えて行こうという気力が見えてきました。この集會の持つ意義をあらためて確認する機会となりました。

1月23日(土) 参加者：160人(13都道府県)。午後1時開会。講演会「高尾の自然に学ぶ」、講演者、橋本良仁氏。高尾山と圏央道について。

講演会「山野井妙子さんを囲んで」、講演者、山野井妙子さん。素晴らしい活躍をされている山野井さんですが、講演会の後 食事、交流会、そして翌日の観察会にも参加して下さりいろいろとお話する機会がありました。そして交流を通しその気取らない気さくな人柄にふれる事が出来ました。

多くの困難や障害に立ち向かわれた妙子さんですが「いつも前だけを見て後ろを振り返らない」と言う

言葉は印象的でした。



妙子さんと一緒に

交流会 各県の民謡、踊りなどが披露されました。



交流会

1月24日(日)、高尾山自然観察会。高尾を守る市民の会の方々の案内の元いくつかのコースにわかれ観察しました。

標高わずか599mの高尾山ですが、暖帯林と温帯林が接する自然豊かな植物相があり、1300種の植物(イギリス全土の植物に近い数字)、150種の野鳥(日本で見られる野鳥の30%)、5000種(日本では3本の指に入る地域です)の昆虫が生息しています。しかも都心から近い距離にこれほどの自然が残されている国定公園は世界的にまれだとも言われています。



観察会の朝

しかし、その高尾山の中腹に直径10m長さ1340mのトンネル工事が進行中でした。裏高尾の狭い谷間には既に巨大なジャンクションが建設されており、24日にこの現場も見学しました。静かな山間に突如として広がる人工物、切り裂かれた自然のなかにポッカリとあいたトンネルを見たとき、その痛々しさに思わず涙だごぼれました。

車社会に慣れた現在人は圏央道の開通を待っている人も多いと思います。

しかし温暖化やCO2問題が取りざたされている中、便利さと引き換えに貴重な自然が壊され環境破壊が進んでいくことをどれほどの人が知っているのかと考えてしまいました。

高尾山の豊かな生物相の源は、その地下を流れる豊かな地下水に支えられています。トンネルを掘れば地下水脈が切断され、植生には多くの被害が出ます。まず水脈が切断されると山全体に水が行渡らなくなり、植物の枯死が始まります。そして豊かな森に支えられ生息していた昆虫や微生物は生きていけなくなり、そしてその昆虫を餌にしていた動物や、鳥達もいなくなってしまいます。植物連鎖の頂点にたつと言われているオオタカは既にジャンクション付近から姿を消しているとも言われています。

この世界的に見てもまれだと言われている高尾の自然はなんとしても守らなければならないと感じました。

21世紀の最大の課題は地球温暖化の防止、環境保全だといわれています。川崎労山では既に15年程前に高尾の立ち木トラストに参加しています。

開発一辺倒の都市計画を見直し豊かな自然を子ども達に残すために、今私達は真剣に考えていかなければならないのではないのでしょうか。

第11回東日本女性登山交流集会2日目 蛇滝コースに参加して

藤沢山の会 高崎明美

東京女性ネットワーク主管で実施された高尾山での登山は高尾山の貴重な生態系を知ることができたと同時に環境破壊と向かい合う方々の努力と誠意を実感することのできた素晴らしい山行でした。

今まで何度か高尾山を歩く機会がありましたが、稜線からの景色やら4月のサクラやら11月の紅葉やらに感動することがあってもブナの生態や植生の多様性に感動することはありませんでした。専門知識がないのですから当然かもしれませんが、貴重な生態系が失われてから“知らなかった”ではすまされないことなのだとも思いました。近視眼的に現在の生活の便利さを追い求め、何十年何百年先の地球環境をおろそかにしている行政を動かそうと立ち上がった人々に心から応援のエールを送りたいと

思います。

そしてこれからは山に登るときには意識的に生きている自然を実感したいと思います。

いつまでも美しい日本の山登りを楽しめるよう又美人ブナの白肌にあやかろうと其の美しい姿を携帯の待ち画面に貼付けてお守りにいたしました。

ますますの女性委員会の発展を期待しております。

<コースタイム>

8:40 わくわくビレッジ発 急行便にてノンストップで高尾駅へ。

9:15 高尾駅発 臨時便3台目に乗る 空いている。

9:25 蛇滝口バス停着 P A S M O利用可。

9:30 湯の花梅林前を左折、橋を渡り行の沢沿いに千代田稲荷まで登る。

9:40 引き返し梅林前の広場で準備体操をしながら橋本さんを待つ。

9:50 八王子ジャンクションの工事現場を前に圏央道建設工事についての説明を橋本氏より聞く。

10:00 橋本氏と別れ再び行の沢沿いに蛇滝に向かう。

10:13 お一人体調不良でバスで帰宅される。

10:40 蛇滝水行道場通過後急坂。

10:50 高尾山ケグルカー駅前広場着 天狗焼きをほお張る。

11:00 裏高尾を望みながら下を貫く圏央道の自然破壊について説明を聞く。落葉樹の枝先に山繭を発見。

11:15 タコ杉前通過。

11:20 薬王院前にて元禄ブナをはじめとする高尾山の生態系の秘話を聞く。

11:35 4号路に入る。

11:45 みやま橋(吊橋)を渡る。

12:00 休憩後高尾山の成り立ちの説明を聞く。

12:15 美人ブナを一目見てから一路見晴台へ。

12:30 大見晴台 富士が薄いベールをまといながらも全景を現す。

12:45 稲荷山コースを下山開始。

13:30 あずま屋展望台下で休憩。

14:05 ケブルきよたき駅前着、解散後高橋家にておいしいそばを頂く。



積雪期訓練報告書

救助隊 海輪利昭

日程：1月16～17日

場所：白毛門登山口周辺

参加者：相模AC3名、AC横浜1名、川崎
柴笛C3名、以上7名

今年のチームレスキュー訓練は2月27～28日に開催される関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集會に委ねることとし、県連救助隊としてはセルフレスキュー訓練をおこなうこととしました。

白毛門(谷川)周辺は積雪が多く白毛門の駐車場で2.2m程あり、充実した訓練となりました。

16日10時30分から12時まで土合駅舎内でビーコンでの捜索法とツエルトでの梱包法の基礎訓練をおこない、午後から白毛門登山口から若干登ったところへ移動してハンドテスト、ショベル・コンプレッションテストによる雪質の確認をおこない、20m×20m程を腰までのラッセルで疑似デブリ状態を作り一人ずつビーコンでの捜索訓練を実施しました。

あいにく3本アンテナのビーコン所持者がなく、その実力を試すことはできなかったのですが当日の中ではトラッカーが安定した実力を示していました。ちなみに最短の人が1分

30秒程度、最長の人は14分程度を要しており、操作に慣れる訓練が必要なことを実感しました。

翌17日は私が事故パーティーのメンバーと云う位置づけで1時間早く出発し、昨日の訓練地先の斜面でデブリ状の雪面を作り雪を詰めたスタッフバックにビーコンを入れ埋設しました。

設置が終わったところに一般登山者をよそおった6名が来て、私の救助要請に応じて捜索し搬出するシナリオ。

ビーコンとプローブでの捜索は短時間で終了し、掘り起こして下部に作ったプラットフォームでツエルトに梱包、半ピッチ引き下ろしの後引き上げをおこない1ピッチの引き下ろした後、緩斜面は徒手搬送し終了しました。引き上げは1/3システムとしましたが、プリーがないと摩擦が多く斜面と云っても大変な労力を要するものです。

その後、約1.5mの深さの穴を掘り2名がひとりずつ埋没体験し、雪上ではプローブによる人体の感触を実感して終了しました。

岩登りでのセルフレスキューに比べて参加人数は少なかったのですが、その分一人ひとりが時間を使って訓練することができたことが良かったことと思います。

参加されたみなさん、ご苦労様でした。

事務局長会議報告 2010年1月12日

県連事務局長が不在で常任理事が交代で司会を務めてきたが、今回はその司会も不在となってしまった。

各会からの報告(下記の他：みずなら山の会、アルパインクラブ横浜)

横浜ハイキングクラブ 役員改選・14～15名中10名改選。思っていたよりすんなり決まった。

1月31日景信山で餅つき山行実施する。

横浜こぶしの会 朝日新聞で会の紹介があり2名の見学者あり。

藤沢山の会 12月12,13日芦ノ湖山荘で忘年会実施。

小田原ナーゲル山の会 1月24日幕山環境保全活動に協力願いたい。

相模アルパインクラブ 12月29日仙塩尾根単独山行中道迷いでヘリ要請。同日救助される。

新人の入会相次ぐ。1月9日の新人冬山山行に新人3合計13名参加。賑わう。

やま++ 大山-日向薬師間で子供迷子。携帯電話で110番通報したら都筑区の警察署にかかる。110番への通報には注意が必要。

山ブキの会 2日かけて蛭ヶ岳に行った。(みやま山荘、尊仏山荘泊) これからも足を伸ばしたい。

県連からの連絡事項

- ・3月14日(日)定期総会の会場が戸塚法人会館に決定した。
- ・川崎ハイキングクラブ事務局長、二瓶氏退会。

常任理事会報告

2010年2月1日

議題

1. 県連総会に関して

議案書に関する説明

- ・ 議案書では4つの議案は明確になるような記載にした
- ・ 第三号議案（規約一部改正及び「常任理事・理事の選出基準に関する規定」新設）での改正部は、現状のものに追記を行う改定案とした

討議結果

理事立候補者名簿は、役職の統一や、記載漏れの理事、新理事（交代、追加など）の追記などの修正を行う。

県連の規約には不備が多く改正が必要だが、根本的な部分にかかる可能性があり、短期間で見直しを行うことは出来ない。今回は必要最低限の改訂にとどめ、9月までに答申案を作成することにする。

各会には規約が改正されることを前提とした理事の選出（会から推薦）を依頼する。また総会には理事と代議員が必ず参加するよう、各会に依頼する。

規約の改正案で、理事及び常任理事の定数ははずす。理事の人数は、各会への理事の割り当てで必然的に定まる。常任理事は、常任理事の定義をもうけることで人数も定まるようにする。

総会は2年ごとであるが、中間に定期理事会があるので、2008年度の報告は不要。また年度の表記は以下のように変更する。

2008年度 -> 31期上期
2009年度 -> 31期下期
2010年度 -> 32期上期

期の定義は4月1日から、翌々年の3月までとして、規約案に追加する。

各部は県連の年間計画書用の計画を提出すること。

遭難対策部からの遭難対策部解散案に関して 遭難対策部からの説明

ここ2年間、立て直しを図るものの実働する部員が減少し、従来からの活動を継続することは困難になったことから、部内での解散案を決めた。

1月31日のファーストエイド講習会にて、集まった部員を対象に後藤理事長が各部員の意見を徴集。活動の継続が困難なことは理解していただくが、必要な活動ではあるため、教育部（リーダー学校）と統合する方向を前提として、部の存続を掲示（将来的にはハイキングリーダー学校、関東ブロック各県の講師陣との統合も検討する）。部員より承認される。

常任理事会の対応

部の都合だけで解散することは出来ない。後藤案で存続するのなら、そのように進めて欲しい。まずは議案書の総括や方針を修正すること。

2. 全国総会に関して

個人会員制度が問題になりそう。地区連盟に負担を求める現状案は、受け入れられるものではない。

その他

各部は2月8日までに部の会計報告を県連の会計担当に提出すること。

また速やかに金銭の精算も行う。

連盟ニュース原稿の締め切りは2月5日（金）

裏表紙に掲載する3ヶ月分のスケジュールの確認も行う

全国理事として樺島が参加困難となったため、代わりに田村を派遣する。

植樹祭（5月23日）は、会場の大倉は混雑する旨の通知が来ている。連盟ニュースに掲載する。

以上

神奈川県勤労者山岳連盟 第28期(2010年度)登山リーダー養成学校 募集要項

岩、沢、読図、雪山、登山計画、気象判断など登山者必携である基礎知識、基礎技術およびパーティリーダーとして必要な判断や行動を目的として、神奈川県勤労者山岳連盟では本年度も「登山リーダー養成学校」(通称リーダー学校)を下記のとおり開催いたします。

1. クラス及び募集人数

初級・・・15名程度(初めて受講される方は原則初級となります。)

中級・・・5名程度(原則初級修了者。神奈川県山岳連盟所属会の代表から推薦がある場合は、初めてでも検討します。)

2. 対象者

- (1) 15kg程度の荷物を背負って、一日8時間程度を2日間、一般登山地図に書かれたコースタイムで歩ける方
- (2) 登山中に支障をきたす可能性のある持病等をお持ちでない方
- (3) パーティーのために前向きに取り組める方
- (4) 机上、実技とも一年を通じ8割以上は出席可能な方(理想は10割です)
- (5) 講師及び受講者間の諸連絡はPCメールで、計画書はEXCELを使用していますので、そのような環境の方が望ましいです。 など

3. 目標

共通 山岳パーティのリーダーとして安全管理ができ、「人に連れて行ってもらう登山」から「自らがマネジメントできる登山」ができるようになる。

初級(1) 知識・技術面

クライミング・・・必要なロープワーク、ピレイ、級登攀
沢登り・・・歩行、徒渉、滝登攀、高巻き、ヒバーク、
遡行グレード1級程度

読図・・・地形図準備、コンパス使用法、実際の地形判断

登山計画・・・計画の重要性、計画書の作り方、安全対策

気象・・・四季に応じた典型的気象パターンと対策

雪山・・・歩行、雪山独自の危険性とその対応

(2) リーダー&パーティシップ

- ・パーティの意義、リーダーとしての役割の修得

中級(1) 知識・技術面

クライミング・・・ロープワーク、ピレイ等を初級に対して指導援助、級登攀

沢登り・・・遡行グレード2級程度

読図・・・地形図準備、コンパス使用法、実際の地形判断を
初級に対して指導援助

登山計画・・・計画の重要性、計画書の作り方、安全対策

気象・・・四季に応じた典型的気象パターンと対策

雪山・・・ロープを使用する初級登攀

(2) リーダー&パーティシップ

- ・リーダーとして十分機能を果たせる

4. 事前学校説明会

日時：4/4(日) 18:30~20:30

会場：かながわ県民センター710号室(横浜駅西口 徒歩5分)

学校の主旨や内容と、受講を希望される方の持っているイメージのミスマッチを防ぐため、上記のとおり事前学校説明会及び第一回机上講習を実施します。

初めて受講を希望される方は必ずご出席ください。

なお、説明を聞いた後に入校を辞退する場合は、4/11(日)までに必ずその旨ご連絡をください。連絡いただかない場合は入校希望と判断します。

5. 机上講習 毎回机上講習後に次回実技講習の打合せを行います。

原則として毎月第一水曜日の夜に行います。

机上講習を欠席される場合は、都度メールにてご連絡ください。

4 / 4 (日) 18:30-20:30 かながわ県民センター710号

上述した事前学校説明会、年間必要装備の説明、クライミング基礎

5 / 6 (木) 18:30-20:30 かながわ労働プラザ第5 (JR根岸線石川町駅徒歩3分)

登山計画の意義と重要性

6 / 2 (水) 19:30-21:30 かながわ県民センター708号

登山の読図

7 / 7 (水) 19:30-21:30 かながわ県民センター602号

沢登り

8 / 4 (水) 19:30-21:30 かながわ県民センター602号

夏山気象

以下の時間及び会場は決まり次第受講者に連絡します

9 / 1 (水) アルパインクライミング

10 / 6 (水) 遭難対策と救助

11 / 4 (木) 冬山気象

12 / 1 (水) 雪山に必要な装備・基本技術

1 / 5 (水) 登山の法的責任

2 / 2 (水) 深雪ラッセル

3 / 2 (水) 修了式 終了後打ち上げ

日程及び会場などは予告のうえ変わることもありますのでご了承ください。

机上補講 (日程、会場は決まり次第お知らせします。受講費は別途必要になります)

11月・・・ファーストエイド (登山中の応急処置) 講習 昼間 1日間

12月・・・雪崩講習 平日夜間

6. 実技講習 集合は受講者に別途連絡します。

4 / 18 (日) クライミング (1) 広沢寺

5 / 16 (日) クライミング (2) 湯河原幕岩

6 / 13 (日) 読図 丹沢

7 / 11 (日) 沢登り (1) 丹沢・奥秩父

8 / 21 (土) ~ 22 (日) 沢登り (2) 奥秩父ほか

10 / 2 (土) ~ 3 (日) クライミング (3) 三ツ峠

12 / 4 (土) ~ 5 (日) 雪山 (1) 富士山

1 / 22 (土) ~ 23 (日) 雪山 (2) 八ヶ岳

2 / 19 (土) ~ 20 (日) 雪山 (3) 谷川方面

3 / 26 (土) ~ 27 (日) 卒業山行

班単位で計画、行動します。

現地集合は、受講者同士の乗り合い、または講師・スタッフ車の同乗 (任意) で。

交通費は各自ご負担願います。

実技補講 (日程、会場は決まり次第お知らせします。受講費は別途必要になります)

1月・・・労山関東ブロック協議会主催 雪崩講習

7. 受講費

初級 ・神奈川県労山加盟会員の方・・・40,000円

・それ以外の方・・・・・・・・・・55,000円

中級 ・神奈川県労山加盟会員の方・・・35,000円

・それ以外の方・・・・・・・・・・50,000円

同級2年目以降の受講者は各5,000円引です。

一年間の受講費です。交通費、テン場代等施設使用料、食費、宿泊費、装備費、連絡通信費、振込手数料等は含みません。

8. 山岳保険

労山遭対基金加入の方は最低5口、できれば10口加入をお願いします。

労山以外の方は、搜索救助補償が必ず付いている山岳保険にご加入下さい。

9. 申込〆切

2010年3月末までですが、定員に達し次第それ以前に締め切ることもあります。

10. 申込先

e-mail : kamog-510@mbp.nifty.com

FAX : 0463-88-6664

後藤真一

下記「第28期神奈川県勤労者山岳連盟リーダー養成学校申込書」に必要事項をご記入のうえ、上記までお送りください。

.....切々とび

第28期(2010年度)神奈川県勤労者山岳連盟登山リーダー養成学校申込書

希望クラス(初級・中級)

氏名(フリガナ)	性別	生年月日(西暦で)	血液型
所属会(無所属の方はその旨ご記入下さい)		持病等	
現住所 〒		自宅TEL 自宅FAX	
携帯電話		Email(諸連絡用)	
緊急連絡先(ご家族TEL)			
勤務先名称		勤務先TEL	
遭対基金口数(労山の方)または加入保険会社・補償内容・事故時連絡先(民間保険加入の方)			
無雪期一般ルート登山の経験(最近5年間程度の主なものを記入して下さい)			
積雪期一般ルート登山の経験(同上)			
無雪期パリエーション・クライミングの経験(同上)			
積雪期パリエーション・クライミングの経験(同上)			
沢登りの経験(同上)			
あなたがリーダー学校で学習したい内容			

提出先 神奈川県勤労者山岳連盟 教育部 後藤 宛

FAX 0463-88-6664 E-mail kamog-510@mbp.nifty.com

提出〆切 2010年3月31日(定員に達した場合は早まることでもありますのでご了承下さい)

ハイキング委員会

2010年度ハイキングリーダー学校入校案内

ハイキングリーダー学校では、登山の基礎技術の習得、安全山行に対する知識、統率力を身に付けるようにします。目標としては新入会員の講師ができ、夏山一泊程度のリーダーが出来る事とします。

記

期 間：2010年4月1日（木）～11月19日（金）

講 習：机上講習と実技山行（内容は右表による）

資 格：会の推薦を受けた人、持久力のある人

人 数：10名

受講料：10000円

場 所：「かながわ県民センター」横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 045-312-1121

時 間：PM7：00～9：00

加藤正敏（藤沢山の会） 〒253-0052 茅ヶ崎市幸町6-13-206

. 0467-87-7080/090-8081-4661

清藤秀子（川崎ハイキングクラブ） 〒250-0875 小田原市南鴨宮3-26-1-102

. 0465-48-2153/080-5055-2708

————— 切りとり —————

第17期ハイキングリーダー学校受講申込書

氏名	生年月日	男・女	血液型	型
住所〒	電話			
	携帯			
所属会名	遭対基金 <input type="checkbox"/>			
主な山行歴				
抱負・要望				

2010年ハイキングリーダー学校日程及び内容			ハイキング委員会		
日程	講習	内容	持ち物	講師(予定)	場所
4/1 (木)	入校式・机上講習 ハイキングリーダーとは	労山の考え方・会活動 計画書・報告書の書き方 地形図の見方	筆記用具 地形図 (1/25000鎌倉)	中山 加藤 清藤	かながわ県民センター 602号室
4/11 (日)	山行 森戸川から二子山	安全山行(歩き方・持ち物) 地図の見方	日帰り装備 地図・コンパス	清藤	集合場所 京急新逗子駅
5/6 (木)	机上講習 岩場の通過	ロープワーク シュリング・カラビナの使い方	シュリング カラビナ	増田	かながわ県民センター 603号室
5/16 (日)	山行 鷹取山/湘南	ロープワーク 三点確保・岩場の通過	日帰り装備	増田	集合場所 京急追浜駅
6/5~6 (土~日)	山行 檜洞丸/西丹沢	1泊山行(ピバーク) 行動中の判断と対応	日帰り装備	加藤	集合場所 小田急新松田駅
6/17 (木)	机上講習 山の天気	天気図の見方 天気の予想	筆記用具	増田	かながわ県民センター 603号室
7/15 (木)	机上講習 救急法	セルフレスキュー 応急処置	筆記用具 三角布	清藤	かながわ県民センター 603号室
8/8 (日)	山行(予備日8/22) 葛葉沢/丹沢	川歩き・沢とはどんな所 岩場の通過	日帰り装備 沢装備	増田	集合場所 小田急秦野駅
9/16 (木)	机上講習 山での生活技術	一泊山行の装備 役割分担	筆記用具	加藤	かながわ県民センター
10/2~3 (土~日)	山行 赤岳/八ヶ岳	リーダーシップ メンバーシップ	一泊装備 (テント泊)	小林	集合場所 JR八王子駅
10/21 (木)	机上講習 山行計画	山行計画の作り方 ミーティング	筆記用具 地図	清藤 山崎	かながわ県民センター
10/24 (日)	山行 世附権現山/西丹沢	地形図にない道 地形を読む	日帰り装備	加藤	集合場所 小田急新松田駅
11/7 (日)	山行 未定	修了山行 自分達の力で歩く	日帰り装備	清藤 山崎	集合場所
11/19 (金)	修了式	修了書授与 反省会・懇親会	筆記用具	全員	県連事務所
全体活動オプション山行					
3/19~3/21 (金N~日)	雪を楽しむ 湯ノ丸山/小諸	雪上歩き、アイゼン歩行 スノーシュー体験	1泊装備 16期生対象	小林	小林宅
5/7~5/9 (金N~日)	大佐渡連邦 佐渡島/新潟	花山行	1泊装備 県連会員	増田 清藤	集合場所 JR港南台駅



登山時報 2月号 目次	小枝琢三 福井壽彦 08
第29期全国総会議案(第一次案抜粋) 14	シグナル 山と地球生態系 斉藤義孝 12
草創期を語る 番場宏明さん 山本辰平 22	山で気になるカンキョーの話 菊池敏之 24
自転車ですら100名山 圓尾勝彦 03	タカトリ今昔物語 古川純一 25
ハイパー山スキーヤーだ! 天狗原~横前	連載 碧い南の島だより 雨宮 節 25
倉山~来馬温泉 三尾 彰 18	JWAFクリック 28 / 全国連盟の活動 31
間ノ岳は大崩落!? わたしの地形図散策	専門委員会活動報告 32 / 編集後記 34
今井雅文 20	インタビュー ひと 大西保さん 35
第21回 全国海外登山集会	地元会員特選ミニガイド
マッキンリーでの気象観測から環境問題	茨城・奥久慈男体山と鷹取岩 / 八周俊 隆
まで 全国海外委員会 10	新潟・大仏山 / 磯部 剛 36
関東ブロック自然保護交流集会	ブックエンド 『冒険の蟲たち』他
ヒト、動物、自然との共生を求めて	小倉迪夫 他 38
菊池健一 塩澤良雄 09	あらかると 「うつ病対策に森田療法を」
新規加盟団体の紹介	原 眞 39
ウルスカディ 師橋恒好 26	会報えつらん室 小倉迪夫 40
山のスケッチ 澤田睦代 06	オススメ山道具 なんちゃってアイゼン
連載 クイズ 地図読み迷人	笹原芳樹 42
村越真 宮内佐季子 07	
野鳥との出会い オオマシコ	

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計39名(男24 女15) 平均 歳

12/23-24 倉岳山～天神山(会員1名他1名)	心クラック(3) 1/2-3 雲取山(4)	1/16-17 湯河原幕山(会員1名他2名)	(県連登山学校) 1/24 滝子山(3)
12/28-29 湯河原・幕岩(2名他1名)	1/8-11 八方尾根・スキー(会員7名他2名)	1/17 丹沢・日向山～鐘ヶ岳(会員9名他1名)	1/24 湯河原・幕岩(3)
12/28-30 八ヶ岳・小同	1/10 湯河原幕岩(2)	1/23-24 八ヶ岳・赤岳	1/30 大山・ボッカ(会員2名他2名)

川崎ハイキングクラブ

報告：小林悦治 計102名(男51 女51) 平均62歳

12/19 大楠山 二子山(8)	1/4 鎌倉・大仏コース(13)	2/21 二十六夜山	3/13-14 湯の丸山
12/20 草戸山(6)	1/10 子ノ権現(15)	2/21 三浦アルプス	3/14 秩父三十四ヶ所巡り
12/20 子ノ権現(4)	1/10-11 金峰山(8)	2/20-21 雲取山	3/17 鶴が鳥屋山
12/23 河村城址(15)	1/11 南房総保田・江月水仙ロード(8)	2/20-21 八子ヶ峰～北横岳	3/21 高尾山
12/27 御前山(12)	1/14 塔ヶ岳・岳の台(1)	2/27 小野子三山	3/28 能岳・八重山
12/29-30 大菩薩嶺(3)	予定	3/7 大高取山と越生梅林	3/28 体力測定/多摩川河川敷
1/3 馬頭刈山(3)	2/7 松田山	3/6-7 畦ヶ丸-菰釣山-平野	
1/3-5 藤原岳/鈴鹿山脈(4)	2/17 笹尾根		

川崎柴笛クラブ

報告：雪竹雅士 計32名(男19 女13) 平均48歳

1/2 金峰山(1)	1/10 乳頭山(1)	1/17 大山-鶴巻温泉(1)	1/30 西吾妻山(1)
1/3 陣馬山(1+2)	1/10 峰ノ松目沢アイス(8)	1/17 城ヶ崎-あかねの浜(4+3)	1/30 神宮川下流域の水瀑(4)
1/3 湯河原幕岩(7)	1/11 犬越路～檜洞丸(1)	1/17 阿弥陀北稜(2)	1/30 西黒尾根(8)
1/4 鍋割山(4)	1/11 三峰山-鐘ヶ岳(1)	1/20 鴨沢西-雲取山-鴨沢西(1)	1/31 鷹取山(1+1)
1/9 湯河原幕岩(2)	1/11 塔の岳(1)	1/23 陣馬山(2+3)	1/31 経が岳～仏果山～高取山(1)
1/9 雲取山、長沢背稜(1)	1/16 救助隊講習会(白髪門)(1)	1/23 石尊陵(1+1)	1/31 幕岩(1+1)
1/9 宝剣岳サギダル尾根・極楽尾根(2)	1/16 西穂山荘～丸山往復(1)	1/23 八ヶ岳(1+1)	日にちは下山日
1/9 天狗岳 北横岳縦走(3)		1/24 黒沢 ウメコバ沢(2)	

アルパインクラブ横浜

報告 = 岸 直哉 計38名(男23 : 女15) 平均 歳

12/31-1/2 乗鞍岳(2)	1/11 城ヶ崎(3)	シュー)(1+2)	1/30 高尾山(1)
1/3 金時山(1+10)	1/16 草津白根山(2)	1/24 塔ヶ岳(1)	1/30-31 妙高山周辺(1+1)
1/8 大山(1)	1/16-17 谷川岳(県連訓練)(1)	1/24 湯河原幕岩(4)	1/30-31 八ヶ岳・ジョウゴ沢(4)
1/9-10 丹沢主脈(1+1)	1/17 伊豆城山(2+1)	1/24 根子岳(2)	1/31 伊豆城山(1+1)
1/10-11 北八ヶ岳(2)	1/17 塔の岳(1)	1/24 倉岳山(1+3)	1/31 鎌倉(1+1)
1/11 陣馬山(1)	1/19-20 奥日光(スノー)	1/25 四十八滝沢(2)	
1/11 丹沢表尾根(1)		1/30 城ヶ崎(2+1)	

横浜ハイキングクラブ

報告 = 池上準子 計59名(男22 : 女37) 平均62歳

12/5 不老山(中止)	1/10 大山(14)	1/31 餅つき山行	2/21 六国見山～天園～衣張山
12/10 室内例会(43)	1/14 室内例会(39)	2/8-10 湯沢(岩原)スキー	2/28 湯河原・城山
12/12-13 忘年会(23)	1/17 矢倉岳	2/11 室内例会	
12/20 金時山(11)	1/20 22 草津スキー	2/14 鳥場山と花嫁街道	

小田原ナーゲル山の会

報告 = 中島健一 計31名(男20 : 女11) 平均 歳

1/17 霧ヶ峰XCスキー(7) 会山行	1/28 運営委員会(7) 来年度総会討議	2/20-21 北ア・乗鞍岳スノーシューハイイク*会山行	3/7 広沢寺清掃活動参加
1/23-24 赤岳主稜(1)リリーダール学校	1/30 丹沢・木の又小屋(3)	2/25 運営委員会	3/10 例会
1/24 幕岩環境保全活動(3)	1/31 幕岩(2)	2/27-28 丹沢・幕沢周辺 テント泊	3/14 県連定期総会参加
1/24 金峰山(2)	1/31 丹沢・くぬぎ山(4)	予定	3/22 運営委員会
	2/10 例会		3/28 明神ヶ岳会山行
			4/4 ナーゲル山の会総会

横浜こぶしの会

報告 = 田辺美由紀 計27名(男18人 女9人) 平均52歳

1/8-11 野沢温泉スキー(2)	1/23-24 雪崩講習会(1)	2/5-6 黒斑山(4)
1/15-17 伊豆大島(5)	1/22-24 ニセコスキー(2)	2/11 権現山(1)

藤沢山の会

報告=中河原昭夫

計85名(男41:女44)平均63歳

1/5 御岳山(9)	1/16-17 硫黄岳(5)	自然観察の森(10)	2/14 富士周辺・二ツ塚
1/6 運営委員会	1/17 房総・水仙ロード(11)	1/23 丹沢・椿丸(3)	2/17 雪崩事故防止講演
1/7-22 南米パタゴニア(1)	1/18 入会説明会(6)	1/23-24 高尾山女性交流	会
1/13 室内例会(45)	1/20 30周年実行委員会	登山(11)	2/20 大野山(会ハイク)
1/14 南高尾(4)	1/20 富士周辺・二ツ塚(4)	1/27 室内例会(37)	2/20-21 八ヶ岳・赤岳(教
1/14 幕岩・岩ト	1/21 雪山の集い学習会	1/30 山梨・崩山(14)	育部雪山実践)
1/16 北関東・岩山、二	1/23 修善寺(15)	2/3 運営委員会	2/24 室内例会
股山(1)	1/23 野鳥観察会・横浜	2/10 室内例会	2/28 道志・高柄山

相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計42名(男30:女12)平均52歳

12/23-24 阿弥陀岳 南稜	12/31-1/1 塔ノ岳(1)	1/9 幕岩(2)	1/16-17 城ヶ崎(3)
(1)	12/30-1/2 赤岳~天狗岳	1/8-10 阿弥陀岳 北稜・	1/16-17 城ヶ崎・幕岩(1)
12/25-27 阿弥陀岳 北稜	(3)	峰の松目沢(3)	1/16-17 白毛門口駐車場
(1)	1/3 幕岩(2)	1/10 百丈ゲレンデ(1)	(雪山セルフレスキュー)
12/27 大山 南稜(ポッカ	1/3 表尾根(1)	1/9-11 城ヶ崎(1)	(3)
訓練)(1)	1/3 大山(1)	1/9-11 赤岳・硫黄岳	1/17 鍋割山~塔ヶ岳(1)
12/27 モミソ沢(アイゼ	12/31-1/4 甲斐駒ヶ岳・	(新人冬山)(8)	1/17 幕岩(3)
ントレ)(6)	仙丈岳(黒戸尾根から)	1/10-11 横岳 石尊稜(2)	1/20 幕岩(3)
12/25-28 鳳凰三山(1)	(1)	1/16 大山(1)	1/23-24 尾白川下流域
12/29 城ヶ崎(2)	12/25-1/5 中国(ヤンソー)	1/15-17 天神尾根(雪上	(刃渡り沢)(3)
12/25-31 仙塩尾根(1)	(2)	訓練)(3)	1/22-24 赤岳(県連リー
12/30-31 赤岳 東稜(1)	1/2-5 赤岳 主稜(1)	1/17 城ヶ崎(4)	ダー学校)(4)

カモの会

報告:森谷準一

計66名(男44:女22)

平均 歳

1/3 湯河原・幕岩(5)	1/23 関東雪崩講習 入笠山(3)	1/31 西丹沢/地蔵平周辺(1+1)
1/9 中央アルプス・千畳敷・ス	1/23 箱根・金時山(5)	1/31 足尾溪谷/松木沢 ウメコ
ノーシュー(2)	1/23 八ヶ岳・赤岳(4)	バ沢(2)
1/10 八ヶ岳・硫黄岳・横岳縦走(3)	1/24 尾白川下流域の水瀑 刃渡	その他、個人山行記録多数ありま
1/10 八ヶ岳・硫黄・赤岳(5)	り沢(2)	す。
1/11 八ヶ岳・阿弥陀北稜(2)	1/24 湯河原・幕岩・環境保全活	ヤマレコでご確認下さい。
1/15 西丹沢~菰釣山(1+1)	動(2+2)	ht tp://www.yamareco.com/
1/16 群馬・荒船山(1+3)	1/30 白毛門(3)	

雪重山の会

報告:小緑岳志

計17名(男13 女5)平均44歳

1/1-3 南アルプス・策ヶ岳ランカ	~赤岳~地蔵尾根)(3)	~天狗塚~宝永第3火口~宝永
ン尾根(2500mまで)(4)	1/10-11 八ヶ岳・広河原沢(クリ	山)(4)
1/3 富士・双子山(太郎坊入口・幕	スマカルンゼ/左保)(3)	1/30 伊豆・城山(4)
岩・双子山・御殿場口新五合目)	1/17 丹沢・鍋割山(3)	1/30-31 八ヶ岳・天狗岳(稲子湯
(1)	1/17 八ヶ岳・峰ノ松目沢(2)	~しらびそ小屋~中山峠~天狗
1/7 丹沢・広沢寺弁天岩(1)	1/23 丹沢・広沢寺弁天岩(4)	岳往復)(1)
1/9-10 八ヶ岳(天女山~権現岳	1/24 富士・宝永山(太郎坊入口	1/31 湯河原・幕山(5)

やま+

報告:栗田 彰

計12名(男9:女3)平均50歳

1/4 丹沢・大山三峰~大山(2)	1/23 新年会山行・黒斑山(6)	2/13-14 山スキー
1/9-10 雪山トレ・北八ヶ岳(5)	1/24 新年会山行・湯の丸山(6)	2/20 上高地スノーハイク
1/13 例会(10)	1/27 例会(10)	2/24 例会
1/17 安曇野・鹿島槍スキー場周	1/31 新人教育(8)	
辺スノーハイク(2+1)	2/10 例会	

みずなら山の会

報告:阿部ひろみ

計31名(男21 女10)平均 歳

1/15-16 三ツ峠 アイゼントレ(3+	1/30 日向薬師-大山(1+2)	2/7 西沢溪谷(1+3)
1)	1/30 宮が瀬-丹沢山-大倉トレ	2/11 堂満岳ルンゼ(1)
1/17 大倉~塔トレーニング(1)	ニング(1)	2/19-21 八方尾根スキー(5+2)
1/22-24 だいくらスキー場(11+2)	1/31 ファーストエイド講習(6)	2/27-28 救助隊関東ブロック雪上
1/23 大倉~塔トレーニング(1)	2/5-6 三ツ峠アイゼントレ(2)	救助訓練(1)
1/23-24 リーダー学校 八ヶ岳(2)	2/6-7 雲取山(5)	
1/24 幕岩清掃(5)	2/7 幕岩(2)	

県連のスケジュール

2月			3月			4月		
1	月	常任理事会	1	月	常任理事会	1	木	H Cリーダ学校入校式
2	火		2	火		2	金	
3	水	登山リーダ養成学校机上講習	3	水	登山リーダ養成学校修了式	3	土	
4	木		4	木		4	日	登山リーダ養成学校入校式
5	金		5	金		5	月	常任理事会
6	土		6	土		6	火	
7	日		7	日		7	水	
8	月	遭対部会/連盟news印刷	8	月	遭対部会/連盟news印刷	8	木	
9	火	事務局長会議/連盟news発行	9	火	事務局長会議/連盟news発行	9	金	
10	水		10	水		10	土	
11	木		11	木		11	日	H Cリーダ学校実技講習
12	金		12	金		12	月	連盟news印刷
13	土		13	土		13	火	事務局長会議/連盟news発行
14	日		14	日	第32期定期総会	14	水	
15	月		15	月		15	木	
16	火	全国理事会/救助隊運営会	16	火	全国理事会	16	金	
17	水		17	水		17	土	
18	木	事務局部会	18	木	事務局部会	18	日	登山リーダ養成学校実技講習
19	金		19	金		19	月	
20	土	全国総会	20	土	登山リーダ養成学校卒業山行 H Cリーダ学校わ ^ろ 山行	20	火	
21	日	全国総会	21	日	登山リーダ養成学校卒業山行 H Cリーダ学校わ ^ろ 山行	21	水	
22	月	クリーンハイク第2回実行委 自然保護委員会	22	月		22	木	事務局部会
23	火		23	火		23	金	
24	水		24	水		24	土	
25	木		25	木		25	日	
26	金		26	金		26	月	クリーンハイク第4回実行委 自然保護委員会
27	土	登山リーダ養成学校実技講習 関東B救助隊深雪搬出訓練	27	土		27	火	
28	日	関東B救助隊深雪搬出訓練 登山リーダ養成学校実技講習	28	日		28	水	
			29	月	クリーンハイク第3回実行委 自然保護委員会	29	木	
			30	火		30	金	
			31	水				

2010年度以降の全国的な規模の集会・会議予定

第24回雪崩事故を防ぐための講習会	2月12日～14日（中ア・宝剣岳、黒姫山）
第29回全国総会	2月20日～21日 東京・晴海G H
関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会	2月27日(土)～28日(日)
「トムラウシ遭難」シンポジウム	2月27日（兵庫県・神戸市）
全国組織担当者会議	5月29日～30日（東京・全国連盟事務所）
創立50周年	
記念講演会「スティーブ・ロング氏」	5月30日～6月6日（東京・札幌・関西）
記念レセプション	5月30日（東京）
記念トレッキング	6月30日～6月21日（カイラス巡礼他）